



# 館報 まつかわ

松川町公民館報  
第729号  
令和6年8月15日

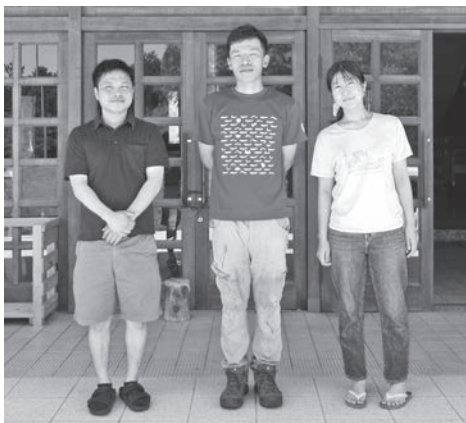
町の川 ⑥ 福沢川（部奈）

# ほしあかり 星灯りの森キャンプ場6月末プレオープン!

青年の家のここに至るまでの経過と今後どうなっていくのか

## 旧 松川青年の家 あと利用の経過

- 平成25年○長野県より「松川青年の家」は平成26年度末をもって廃止する意向であることが伝えられる。
- 平成27年○町教育委員会が「社会教育施設として使用しない」方針を決定。
- 平成28年○**現施設を活用**し、西山周辺の既存施設と連携した地域振興を図る事業（・スポーツトレーニングセンター事業・滞在観光としての体験プログラム事業・宿泊施設）を行う方針などが出されたが、最終決定は保留。
- 平成29年○長野県と施設譲渡・補助金覚書（1億4千万円）締結。
  - 3月に県が松川青年の家を閉所。町へ施設を移管。
  - 「既存施設改修による活用（観光交流）方針（案）」において「町の地域資源（自然）を活用した体験と宿泊の拠点として**活用を行う**」こととして事業の検討を開始。
  - 議会からは補助金の範囲内で改修を行い、継続使用の選択が申し入れられる。
- 平成30年○活用（案）による大幅リニューアルを行う改修デザイン・改修工事費試算（3.8億円）が提示される。
- 議会からは判断材料をそろえ、時間をかけて調査を行うべき等の意見が多数出される。
- 平成31年○町長改選。
  - 除却改築の方針に転換**。（研修・宿泊棟を解体・撤去し、体育館は活用）
- 令和2年○住民から既存施設の改修活用（防災）に関する請願が町、議会へ提出される。
  - 2段階方式が議会に提案される。  
（第1期整備（1億4千万円）で宿泊棟の撤去、ツリードームの整備等。その後、エリア全体の整備構想策定し、第2期整備を実施する方式。）
  - パブリックコメントの実施。
  - 基本コンセプトを施設の取り扱いに先行して検討するよう方針転換**。
  - 旧松川青年の家エリア整備計画検討委員会スタート
- 令和3年○旧松川青年の家エリア整備計画検討委員会の意見がまとめられる。
  - 検討委員会報告書等をもとに、旧松川青年の家エリア整備計画基本方針がまとめられる。
  - 既存施設は長寿命化改修と機能強化（リノベーション）改修を行い利活用することに決まる**。
- 令和4年○運営主体の選定方法を公募型プロポーザル方式に設定。
  - 運営候補者として（一社）山村地域開発ネットワークが特定される。
  - 長寿命化改修工事が始まる。
- 令和6年○（一社）山村地域開発ネットワークに運営業務委託開始



山村地域開発ネットワークのみなさん  
左から 羽場大羅さん、河合朋樹さん、中村優希さん

## 議会から

- ・現有建物が再利用できるはず。
- ・現有建物の再利用でも採算の取れる事業ができるはず。
- ・町長の思う通りにしてい。い。
- ・長く議論していることが問題だ。

## 住民からの提言 （パブリックコメントより）

- ①防災拠点
  - ・研修宿泊棟（中長期避難施設、新型コロナ軽症者隔離施設等）
  - ・生涯学習（防災学習）施設
- ②山岳観光の拠点（山岳観光チャレンジセンター）
  - ・山岳観光案内
  - ・山岳ガイド
  - ・自然、登山関連の研修、体験活動
  - ・ガイド養成
  - ・アウトドア用品販売
- ③人・モノ・資金・情報の流入を先取りする戦略的拠点
  - ・企業向け保養、研修施設
  - ・国内外学習旅行受入れ
  - ・滞在型野外学習
- ④安価で利用できる施設（清流苑と差別化した二ーズ対応）
  - ・素泊まり基本  
（1泊朝食付き3,000円程度）
  - ・キャンプ場（魚釣り、ツーリング、家族旅行、研修、キャンプ）



松川青年の家運営・施設整備基本計画 予定図

「現在、まだまだ施設や設備の整備が進んでいませんが、できることから始めてみようということで、プレオープンという形でスタートさせていただきました。キャンプサイトとして3か所をご利用いただけます。インターネットでの予約もできますし、8月からは仮設トイレや仮設シャワーを整備しましたので、ご利用いただきやすくなったと思います。」とお話



旧松川青年の家「<sup>ほしあかり</sup>星灯りの森キャンプ場」は6月末にプレオープン！

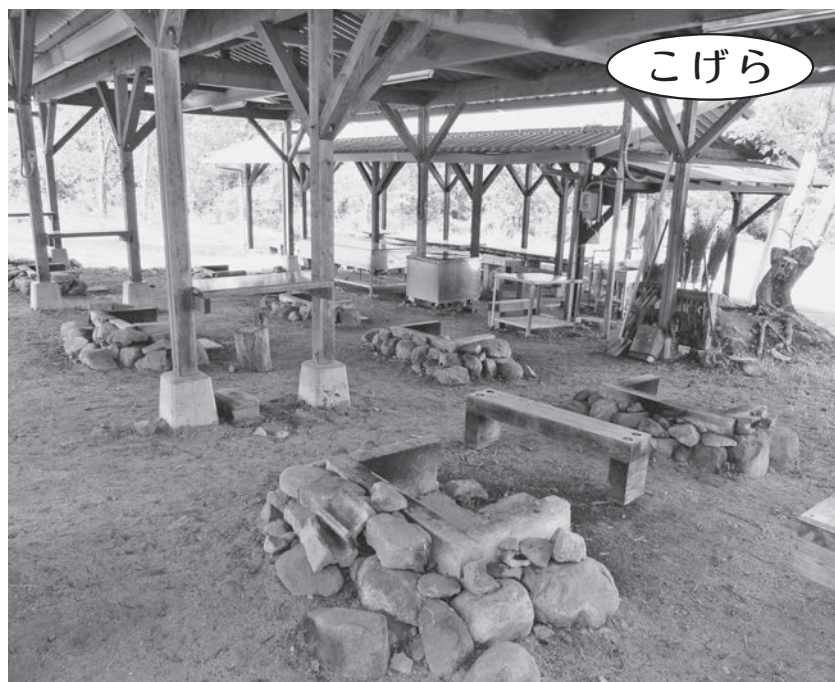
今回、現在青年の家の管理運営業務の委託を受けている一般社団法人山村地域開発ネットワークの方々にお話を伺いました。

いただいたのは管理人の中村優希さん。スタッフの河合朋樹さんと共に、この2名の方が中心となって施設を運営されています。

このプレオープン期間は2年間。この2年の間に施設や設備を充実させていく予定で、トイレや炊事場、ドッグラン等の整備を進めていくとのこと。特に現在のとても水はけの悪いグラウンドの状態を解消するため、50cmほどの盛り



にぎわっていました。将来的には、地域の食材等を販売する市場やフリーマーケットなどをやりたいとも話されていました。



従来通り「こげら」のキャンプ場では屋根付きの炊事場で水道・電気が利用可能。BBQ・焼肉にうってつけ！

土を行う工事が予定されています。

「松川町はこの町自体がとても魅力のある場所。一方で、宿泊施設が少ないのが非常にもったいないと感じています。この場所で宿泊してもいい、ここを拠点に町を楽しんでもらう場所に、そして町内の人と町外の人の交流の場にできればいいですね。」

山村地域開発ネットワークは飯田市のクラフトフェアを主催するなど、自主イベントや地域を盛り上げる活動が得意な方々。この場所や地域を活かしたイベントなどの体験事業も計画していきたいとのこと。その一環として、

8月には「毎日」水鉄砲大会を開催し、多くの子ども連れでにぎわっていました。将来

様々なことを自由にやらせてもらえる環境で、町長からも「どんないろんなことをやってほしい」と言ってもらえることもあり非常にやりやすいと喜んでいました。

紆余曲折あった青年の家もまだまだ整備は始まったばかり。まだ手探りで進めているところもあるとのことですが、確実に動きはじめていることを感じられる機会となりました。

町民の皆さんにとっては、施設が有料となり悲しんでいられる方もいらっしゃるかもしれませんが、しかし、施設を持続可能なものとし、よりよい施設にするためには経済的な側面は避けては通れません。町民の方は割引価格となっていますので、ぜひご利用ください！

生まれ変わる青年の家と一緒に盛り上げていきましょう。

信州大学学術研究院の上村恵津子さんを講師に迎え、男と女いきいき講座「子と親のかかわり」が開催されました。まず参加者が会場内を歩きながら自己紹介やじゃんけんをしてコミュニケーションがとれ、その後のグループワークも和やかな雰囲気です。今回のテーマは「子どもとのコミュニケーションを考えた」。



ひとひと  
男と女いきいき講座  
〜子と親のかかわり〜  
7月6日(土)

「自我の発達が進ましくなり、気持ちと実力のアンバランスさからくる不安定な状態の反抗期。自分自身の価値観を確立し始め、迷ってもいいので子どもが納得して自己決定していくことが重要だといえます。」  
そのアイデンティティの確立に向けた支援として子どもたちの話を聴くことは、ストレスの解消や気持ちの整理をつかさどる（カタルシス効果）役割があるそうです。話し合いをする場面では、話す目的を明確にし、家庭や子どもの特徴に応じた話しやすい雰囲気づくりも必要だということです。



笑組さん



橘家圓十郎さん

第14回  
まつかわ寄席

笑緑亭花里ん十

笑緑亭肉太郎



中央小落語クラブのみなさん



笑緑亭由香団房

笑緑亭小太郎

今年も、猛烈な暑さが連日のように続くなか、恒例のまつかわ寄席が開催されました。今回は、前座として、中央小落語クラブの4人が高座にのびりました。

初めは、圓十郎師匠の紹介スピーチにイジられ、落ちつかない感じがありました。小唄が始まると、4人それぞれ落ち着いた唄し口調で、耳にやさしく感じられました。

熱気が強くなったところで少し涼しくして…とはいきません。橘家圓十郎師匠が高座にのぼられるとボルテージが一気に上がり、2〜3度室温上昇?! 師匠の変わらぬ体格を拝見しました。ああ、やっぱり今年も、まつかわ寄席は暑い（熱いではなく）のです。

得意の父子物。お人好しで恐妻家の父をうまく操る男の子の唄は、いつ聞いても楽しい。

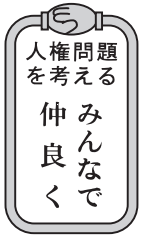
ここで（両足の血流を良くするため）高座を降りた圓十郎師匠に代わり、先輩の漫才師、笑組のお2人登場。

落語がインターバルのある話芸なら、漫才は全力走の話芸。次から次へと繰り出されるネタに笑いと息継ぎが追いつきません。その場の状況に応じて的確にネタをつかみ笑いへと繋げるお2人に大きな拍手が。

あらためての唄は、仕事一筋で生きてきた大店の旦那が、風流人の住む根岸に隠居することに。でも、今まで遊んだことの無い旦那が、子どもの頃に少しかじった事のある茶の湯を、小僧の貞吉と見様見真似で始めると…騒動に巻き込まれた人達の所作は、さすが圓十郎師匠でした。

今回のまつかわ寄席は少し目先が変わって新鮮でした。

演じてくださった皆様に感謝のひとつです。



松川 中央小学校

本年度、松川中央小学校児童会のスローガンは『みんな友達 中央小く関わり・助け合い・笑顔』です。これまでの活動に加えて、新しい活動を試みています。活動の内容や活動への思いを紹介してもらいます。

児童会のやりがい

副会長 下島 陽葵

ぼくはこの半年、いろいろな活動をしてきて、とてもやりがいを感じています。

その一つ目は、いろいろな企画を考えることです。みんなが楽しんでくれるだろうか、どうすれば楽しめるだろうか、と頭を使って考えて企画を作るのは、むずかしいことだけど、楽しいことでもあります。

二つ目は、企画が終わった後や、やっている最中に「楽しい！」や「おもしろかった」という声が聞けると、もつと

おもしろく作りたいな、とかまたやってみたいな、と思いつた次のモチベーションになり新たなアイデアも生まれてきます。

このやりがいを大事にしなから、残りの活動も仲間と協力してがんばっていききたいです。

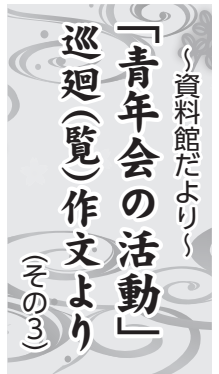
活動について

書記 大坪のぞみ

松川中央小学校児童会本部ではいろいろな活動をしていきますが、その中でも『児童会チャンネル』について紹介します。

まず、児童会チャンネル『スマイルフレンズ』は全校のみんなに学校生活をより良いものにするために、学校のことについて紹介する動画を作っています。全校のみんなが楽しく学校のことを知ってもらうために、動画の構成やセリフなども本部役員みんなで考えて作っています。一つの動画ができあがるまでには、たくさんの行程があつてとても大変ですが、たくさんの人たちに見てもらい、反応してもらえると「動画を作ったよかったです」と思っています。

本部委員会が、もつともつと成長できるように、がんばりたいです。



今月は、終戦記念日の月。少しでも戦争のことを考えてほしいと思ひ、戦前の青年会の巡廻作文についての記事を今月も紹介します。今回は昭和13年の作文に触れたいと思ひます。昭和13年は、日中戦争開戦の翌年で、国家総動員法が制定され完全に戦時体制となります。この年の1月と7月に発行されたものを見てみます。

「聖戦いまだ途上にあり昨年十二月首都南京の攻略によって敵の急所を制し事変が一大転換となった。天地も改まりめでたい昭和十三年の新春を迎えた。ここに恭しく皇室の万歳を奉り戦勝と新年の祝賀を祝うとともに皇軍将兵に対し感謝の意を表す。あわせて事態の前途は容易に治まり難く帝国をめぐる情勢は今後ますます多難になるが輝かしき今日の戦勝で我等国民の奮起を期待する。希望に輝くこの手に望みがかなえられることを切望する。」

「(前略)青年会にしてもそうだ。戦争体制にある今日、『国民精神総動員』と国を挙げて叫ばれる今日、一層団結心を強固

にし銃後の充実を期すと共に、忠実に会の発展のため、あたえられた部署で邁進しようと思う。中国を懲らしめる銃をもち血と涙の戦いを続けている皇軍各位の労苦に対して心から感謝するとともに武運のますます長久の程を祈る。」

「家なり会社、また村においても一番困るのは同化しない人がいることだ。それは身体何所かに刺があれば、さほどでもないが動こうとすると痛かったり傷になつたりする。諸君、世の中を心して暮らそうではないか。」

この三つの文より、より戦時体制が組織化され、国民精神総動員という言葉で国民の団結を計り一つの考えに染めていることがわかります。

次に7月のものです。

「(前略)『支那は戦闘に敗けるとも戦争に勝つてみせる』と豪語している。いかに日本軍が勇敢であっても少ししたてば国内が疲弊して精神的にも物質的にも腰が砕けるに違いない。そうならば支那は、外国と手を握つて日本をやっつけてやる、というのだ。無論これは支那の強がりであるが、(中略)かつてドイツは世界大戦当時『戦闘には勝つたが、戦争には負けた』といつたが、これは国民精神の敗北を意味し、参考とすべきものであ

る。「戦闘は第一線で戦争は国民一致で」の下、同胞一億今日の時局を乗り切つて目的を達し、国運を躍進させ各自の身心を捧ぐ事は当然だ。あらゆる意味で今日ほど国民の一致結束、勇猛邁進を要する時は未だかつてない。皇軍の勝報とともに、国民はさらにその先の勝利に対して決心と準備を固めなければならぬ。」

このころになると戦争は一進一退の膠着状態となりますが、国民には常に勝つたことだけが伝えられています。そして日本がその後、米英と戦争になること、日本が負けることはみじんも思っていない。

こんな文章ばかりの中にホッとできるものもありました。

笑話 「百点」

子供「お父さん、僕今日 百点とつたよ」

父 「ほう、なかなか偉いな」子供「読方が二十点、算術が四十点、修身が四十点、合わせて百点だよ」

父 「？」

苦しく窮屈な世の中でこんなことがほんの少しの清涼剤だったのかも知れません。(文章は現代文に直してあります)

松川町資料館 中島裕治 (つづく)

# 猛暑襲来 熱中症計を設置しました!!

熱中症計は、「暑さ指数 (WBGT)」を示すもので、気温、湿度、日射量などをもとに算出する熱中症予防の指数です。

スポーツ活動における熱中症予防のための指針として、「ほぼ安全」「注意」「警戒」「嚴重警戒」「原則中止」の5段階を10個のバーで表示します。

WBGT値が「原則禁止」に達すると赤い光が点滅する設定になっています。

点滅時は活動を中断するなど、命を守ることを最優先し、熱中症対策を行ってください。

※点滅は数値が下がれば消えます

町民体育館アリーナ・トレーニングルーム・剣道卓球場・柔道場・名子原体育館・福与体育館に熱中症計を設置してあります。設置してある熱中症計にはさわらないようにしてください。

テニスコート、各グラウンド、小中学校、弓道場、台城マレットゴルフ場に関しては貸出用の熱中症計をご利用ください。



近年では「男性が」「女性が」ではなく、「だれもが」が重要な視点となっています。また、若年層においては、男女共同という言葉自体に違和感を覚えるほど当たり前のこととなっているように感じます。

皆それぞれが少しずつでも

町では期間中に、オリジナル横断幕掲示や関連講座・役場管理職によるイクボス宣言・新たな男女共同参画計画の策定会議が開催されました。

## 男女共同参画週間 考えるきっかけになったでしょうか

男女共同に目を向け、考えていくことで、「それぞれの個性と能力を發揮できる社会」になっていくことを願います。

生涯学習課男女共同参画係



計画策定会議



信州大学  
上村教授の講演会



イクボス宣言



横断幕設置

### 情報

#### ◆まつかわ大学◆

若宮正子さん  
世界最高齢のプログラマー

日時：9月7日(土)  
午後1時30分～  
場所：松川町中央公民館  
聴講料：500円

◆申込・お問い合わせ  
事務局(中央公民館)  
☎36-2622



#### 第33回松川町音楽祭

日時：9月8日(日)  
午後1時30分～  
場所：町民体育館  
トレーニングルーム

### スポーツ

#### 第16回町民ゴルフ大会(7月28日)結果

場所：高森カントリークラブ



- 1位 滝川 智之
- 2位 今野 俊次
- 3位 波多野昭久
- 4位 荒川 誠
- 5位 伊久間圭介

団体の部  
優勝 上大島

準優勝 名子  
(荒川 誠・西尾重美・斉藤健幸・矢澤 樹・宮下 敬)

3位 上新井  
(滝川智之・大島真也・杉山 茂・矢沢秀明・矢沢千明)

(波多野昭久・伊久間圭介・林 孝一・古林貞子・佐藤博文)



# きつかけはナルト!! 外国語指導助手 ラウ・フェリシア先生



本語を学ぶモチベーションになり、更に先生になりたいという希望を持ったといえます。フェリシア先生の13歳14歳頃の希望はお金持ちになることで、世界のいろいろな国に行くためのお金です。自分たちが文化を見たかったそうです。

休みの日はバドミントンをすることも昔からスポーツが好きでテニス、卓球とかも好きだそうです。

好きつながりで好きな色・花・食べものをうかがったら緑色・ヒマワリ・麺類(ラーメン・うどん・そば何でも)とのこと。好きなファッションはカジュアルでユニクロなど好きだそうです。

明るくてアクティブな感じですが、ギターも趣味の一つで、でも歌はダメと笑っていました。

フェリシア先生が可愛いのでインタビュウ中キョウキョウンしてしまいました(筆者女です)。ずっと笑顔でいてくれて、記事のネタとして足りなかつたらまた会いますと言ってくれました。

4月から1年間、外国語指導助手の先生が中学校に来てくれています。インタビュウの担当の私は英語とか全くダメですけど思ったら、フェリシア先生は日本語が上手!日本で育ったんじゃないかくらい上手です。

インドネシアで生まれて、7歳からオーストラリアに、今もご自宅があるようです。街育ちで、松川に来た時「山の美しさがすごかった!とにかく山がキレイ!」とのこと。



バドミントンの仲間が気持ちよくフェリシアさんを受け入れてくれるとのこと、嬉しそうでした。

夏休みは旦那さんが日本に來られて、東京、大阪とドライブがてら移動し、日本の見たい所を少しまわるそうです。

中学生の皆さんはきつとフェリシア先生に憧れるんだろうなと思いました。

まだ書いてないことが実はありました。おしゃれ好きなようで、素敵なネックレスと石のブレスレットなど重ねづけしていました。

苦手なのは大きい虫のクモ。日本語を面白い!と思えたのは、マンガのNARUTOがきっかけだったと言った時、身を乗り出したフェリシアさんでした。

## 令和10年開催!! 信州やまなみ国スポ 松川町で森林セラピー開催決定!!



7月26日(金)、第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会第8回総会が開催され、関副知事より松川町に大会旗が贈呈されました。

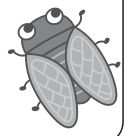
令和10年に長野県で開催されるこの大会で、松川町はデモンストレーションスポーツ\*として「森林セラピー」の開催地となり、競技会場地に初めて内定したため、大会旗を受け取ってきました。

開催に向けて着々と準備が進められていますので、一緒に盛り上げていけるといいですね!

\*デモンストレーションスポーツとは：県民誰もが参加でき、生涯を通じてスポーツに親しみきっかけ作りや交流の輪を広げること等を目的に行われる競技のこと。



北小学校2年



じぶんだけ りんごのぶくを きているよ

(大澤 奏吾)

おかいこさま すくすくさだつよ ほくたちも

(宮島 綾直)

お花はね お水をあげんと かれちやつよ

(大澤 小雪)

くわがたさん せまいケースに 入れられた

(菅沼 想)

赤ちゃんは もちもちしてる まるい顔

(清水ほのか)



今年で9回目を迎えたふるさと登山。これまでは松川町にある登山口、鳩打峠から烏帽子岳へ登ってきました。主催するふるさと山の会では、近隣にあるほかの山にも登ろうと、今年は飯島町の傘山を選びました。

傘山の標高は1542m。烏帽子岳の2194mに比べれば低い山で、登山初心者でも登りやすい山です。一般参加は6人で、ほとんどの方が傘山には登ったことがなかったそうです。

主な登山道は南側から登るルートと北側から登るルートがありますが、今回は北側の歴史のあるコースを登りました。朝6時20分に登山口を出発し、休憩をはさみながらゆつくりと3時間かけて登りました。

登り始めたころの空は曇り。しかし山頂に着く頃には空は晴れ、南アルプスを一望することができました。この日の天気予報は曇りで、午後には雷の心配もあったため、出発予定を30分早めていました。登っている間は曇って涼しく、山頂では晴れて景色が楽しめるという好条件の登山

となりました。そして雷の心配がない午前中のうちに下山し、無事に終わることができました。

次回は記念の10回目

ふるさと登山は、登山の経験がない人でも地元の山に親

〈参加者の声〉

- ・来たことが無い山に登れてよい経験になった
- ・いい運動になった
- ・小八郎と似たような標高の山だが、見える景色は違って、こちらも良かった
- ・最後の長い急登は大変だった
- ・烏帽子より難しくない山とは聞いていたが、体力的にもっと準備しておいたほうがよかった



しんでもらうとともに、ふるさとの再発見を目的に行われています。また安心して参加できるように、2度の事前説明会を実施しています。来年は10回目の節目ということで、改めて烏帽子岳への登山を予定しています。

こころの草

最近、今まで思い描いていなかったなにか実現しないことが叶った。それは、テスト勉強をしている子どもにも夜食のラーメンを作って食べさせるという何の変哲もないことだ。トントんと子供部屋をノックしてテスト勉強は順調か聞きながらラーメン出来たと声を掛ける、ドラマや漫画のようなシチュエーションにずっと憧れていた。カップラーメンだと雰囲気欠けるので、豆乳を使ったとんこつ醤油風のレシピがあったので試してみた。味玉をトッピングし意外と本格的にできた。ラーメンをすする子どもの横顔を見ながら何とも言えない満足感があつた。

今度の夢は、子どもが20歳になったら、一緒に呑みに行つてメにラーメンを食べ、「お父さん食べすぎ！」と注意されるのが夢だ。そんな日を夢見ながら子どもの成長を見守りたい。

(大東洋文)

公民館報  
「まっかわ」  
第729号  
令和6年8月15日  
発行所 松川町公民館  
責任者 山崎 隆  
編集人 公民館編集部  
Tel 36-2622  
e-mail: c.kouminkan@town.matsukawa.lg.jp  
飯田市上郷黒田121  
印刷所 龍共印刷株式会社